

令和四年度 学校経営方針

教育目標と目指す生徒像

敬愛

「生命の尊さ」を一人一人が心に深く受け止め、敬い愛する気持ちをもって助け合い、励まし合って生きる生徒

勤勉

人には優しく、自分には厳しく、仕事や勉強に積極的に最善を尽くして努力し、自分の行動に責任をもって生きる生徒

創造

自ら学ぶ意欲をもち、個性豊かな自己実現に向けて、人間としてより価値のあるものを創り出していく生徒

目指す学校像

生徒にとって

●自分の目標をもち、主体的に活動できる、明るく生き生きとした魅力ある楽しい学校

保護者にとって

●安心と信頼があり、子供を通わせたい学校

地域にとって

●内外に開かれ、多くの地域住民や保護者、関係者の支えのもと、地域とともに歩む学校

2つのスローガン

あいさつの飛び交う学校 わかるまで教える、学べる学校

生きる力の育成
(三つの考える力)

キャリア教育の
基礎的・汎用的能力の育成を踏まえ

**A 学習を
考える力**

**B 自分を
考える力**

**C 人を
考える力**

目指す教員像

- (1) 生徒を心から慈しみ、理解し、生徒の良さや個性を引き出し、伸ばす教職員
- (2) 自らの課題を認識し、日々研鑽に努めるとともに、協働して磨き合う教職員
- (3) 地域を愛し、保護者と共感し積極的に対話しながら保護者や地域住民の信頼に応える教職員
- (4) 自らの職責の重さを自覚し、コンプライアンス(法令遵守)に基づき職務を行う教職員

SDGs
を考える

KODAIRA 6TH Junior High School
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

実現を目指して

コミュニティ・スクール

学校経営協議会



- 長年にわたる地域の教育力に支えられ、さまざまな教育活動が展開。
- 学校の課題に応じて、学校の職員と連携しながらさまざまな取組を行っている。
- 月1回の学校経営協議会で活動内容を決定。

学校経営協議会によるプロジェクトチーム

- (健全育成・学力向上・キャリア教育)による学校支援の様々な活動
- ・部活動体験 ・地域清掃 ・運動会CS種目 ・学校支援ボランティア
 - ・カルチャー教室 ・英語による教室掲示 ・福祉バザー ・学習教室
 - ・武蔵野美術大学との連携事業 ・家庭学習の手引き ・検定試験

考え・学ぶ

12の取り組み

A 学習を
考える力 B 自分を
考える力 C 人を
考える力 の育成
に関係

支える

① こだろくスキル

キャリア教育の 基礎的汎用能力

- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力
- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力

- ① 学び合う力
- ② 自分を考える力
- ③ 今を知る力
- ④ 未来を考える力

他者の考えに耳を傾け、協力することができる力
自分自信を見つめ、ものや時間を管理できる力
将来との関わりを考えながら学ぶ力
課題を発見し、計画を立てて、解決しようとする力

7つの習慣

- ① 主体的に活動
- ② 目的をもつ
- ③ 最優先事項
- ④ Win-Winを考える
- ⑤ 理解し理解される
- ⑥ 相乗効果を
- ⑦ バランスよく高める

② 基礎学力の定着と学力向上

- 毎日の授業を大切に(六中スタンダード)
- 授業の自己評価 ●授業改善プラン
- 学年タイムの活用 ●タイムマネジメント
- 家庭学習(自主学習支援) ●各種検定への挑戦の推進
- コミュニティ・スクール学力向上プロジェクトとの連携
- 学習環境の整備 ●学習ロードマップ
- 英・数における習熟度・少人数授業

④ 自己実現の達成を図る

- 生きる力の育成(進路・進学指導の充実)
- コミュニティ・スクール、キャリア教育との連携
- 職業講話 ○ようこそ先輩 ○福祉バザー
- 高校入試支援(面談対策、作文対策)
- 生徒の個性・適正の把握
- 職業レディネステスト ○復習テストの実施
- ボランティア活動の充実 ○連絡ファイルの活用
- 生徒の資質・個性の伸長と適正を生かした進学指導

③ 生活指導の充実

☆六中スリーアイズ+

- 生徒との触れ合いを大切に生徒理解と指導の徹底
- 社会性の育成、校内規律の確立、規範意識の向上
- 部活動の充実 ●あいさつと礼儀
- 生徒の主体性を育む、生徒会活動の充実
- コミュニティ・スクール健全育成プログラムとの連携

六中スリーアイズ

「愛」…人に優しく、物に優しく
「1」…自分を大切に、私はこう思う
「あいさつ」…場面に応じた礼儀
「+1」…見通しをもつ目(eye)

⑤ 地域の教育力の活用

・小中連携教育の推進

- コミュニティ・スクール各種プロジェクトの推進
- 学習面 ○生活面での取り組み ○情報交換
- 六中地区コミュニティ・スクール活動の推進
- 地域教育力活用・向上 ○小中の交流

⑥ 心身の健康促進

- 体力向上と適正な生活習慣作り「7つの習慣」
- 豊かなスポーツライフの創造
- オリンピック・パラリンピック教育 ●食育の充実
- 生命尊重の精神の育成、道徳の授業の充実
- 不登校生対応、けやき教室の運営、サポート教室

⑦ 家庭・地域社会との連携

- 情報発信の充実。
- 学校・学年・学級だよりの発行
- ホームページ、一斉メールなどによる情報発信
- 家庭・地域との連携
- ボランティア活動の充実 ○連絡ファイルの活用
- 地域行事への参加 ○家庭との情報の共有

⑧ 環境教育と環境の整備

- 学習環境の整備
- 毎月の安全点検の実施、迅速な対応
- 毎日の清掃活動の充実
- 校舎内外を明るく
- 季節を感じる環境 壁面の有効活用

⑨ 防災教育の充実

- 防災教育・安全指導の実施
- 自助 ○共助 ○公助
- 避難訓練の充実
- 引き渡し訓練、集団下校訓練の実施
- 防災に対する知識と技能の習得
- 保護者・地域との連携(いっつき避難所)

⑩ 特別支援教育の推進

- 特別支援教育校内委員会の充実
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携 ●教育相談活動の充実
- 不登校生対応、けやき教室の運営
- ・学校運営協議会との連携、他機関との連携による登校支援、特別支援教育校内委員会の実施

⑪ 校内研修・研究の推進

- 研究を基盤に・・・「こだろくノートを活用したタイムマネジメントと学習・生活習慣作りの継続
- 教科指導、専門性、授業力の向上を目指した教員研修
- GIGAスクール構想に基づくタブレットP.Cの活用
- SDGsへの取り組み ●サービスを意識する

⑫ 学校事務

- 分掌との円滑な連携と効率的な予算執行
- 光熱費の管理、消耗品の管理
- 学校環境の整備 ●提出書類の期限厳守
- 適正な会計処理 ●法令遵守、服務規律の徹底

